

第1回『山梨の木造の家』コンテスト

NATIVE HOUSE ネイティブハウス

-これからの住まい方を見つめて-

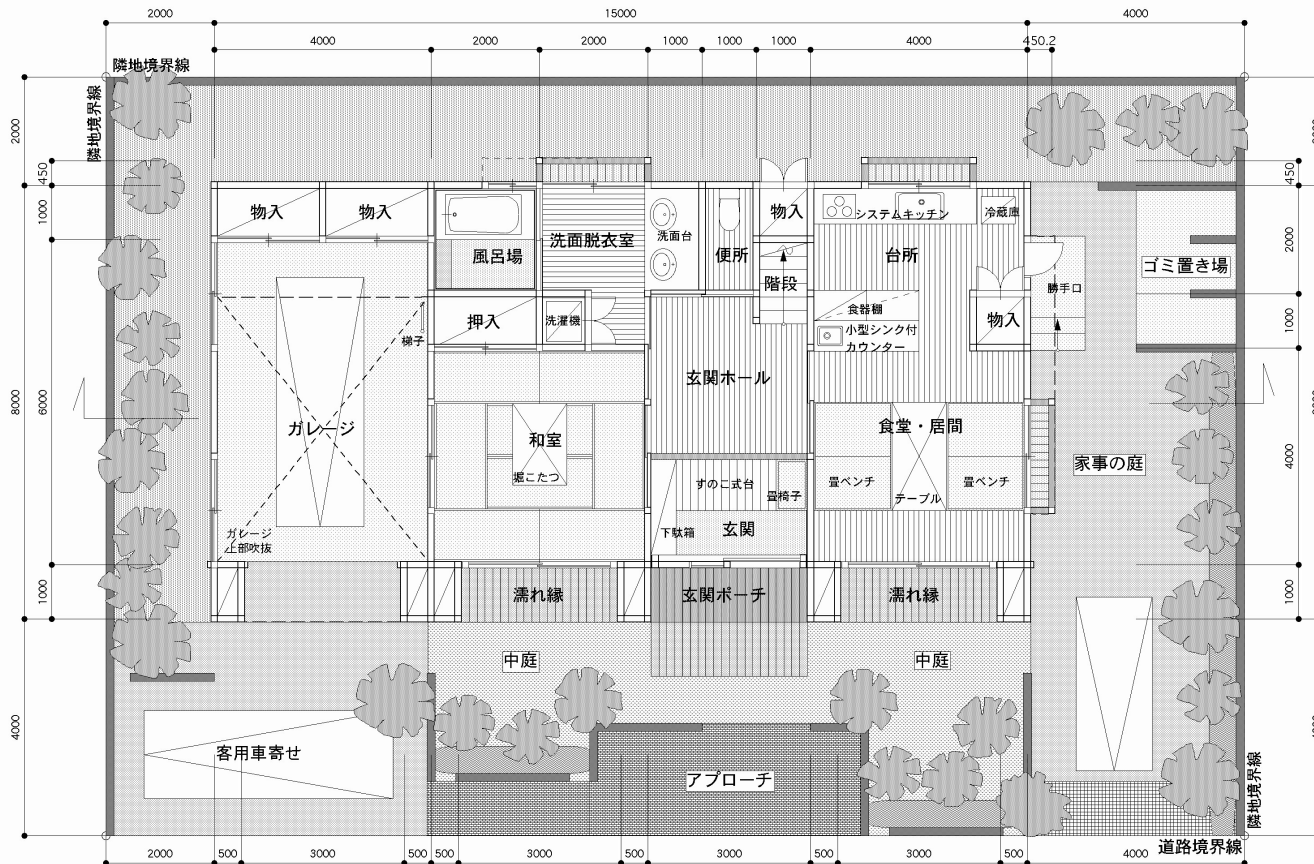
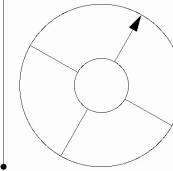
★設計趣旨★

「山梨の木造の家」を想像したとき真っ先にゆったりした時間がながれる落ち着いた空間、そして落ち着いた姿を連想させる。それは正に、アプローチの深み、玄関のゆとり、居間と食堂を兼ねた空間にしつらえられた大きなテーブル（茶ぶ台）と畳の敷込まれたベンチや和室の堀コタツであり、そして大きくゆったりとした屋根とそこに載る小屋根である。これらが懐かしさを醸し出している。しかし、これからの「山梨の木造の家」は、環境との共生や住みやすさも兼ね備えていなければならない。即ち時代の趨勢であるエコロジー思想・バリアフリー思想を実現させながら、新しいライフスタイルを提案していく必要がある。

これらは山梨県産の樹木を使うことやメーターモジュールの採用。そして引き戸の採用であり、各個室の中に独立して就寝空間を設けた平面計画で実現することができる。

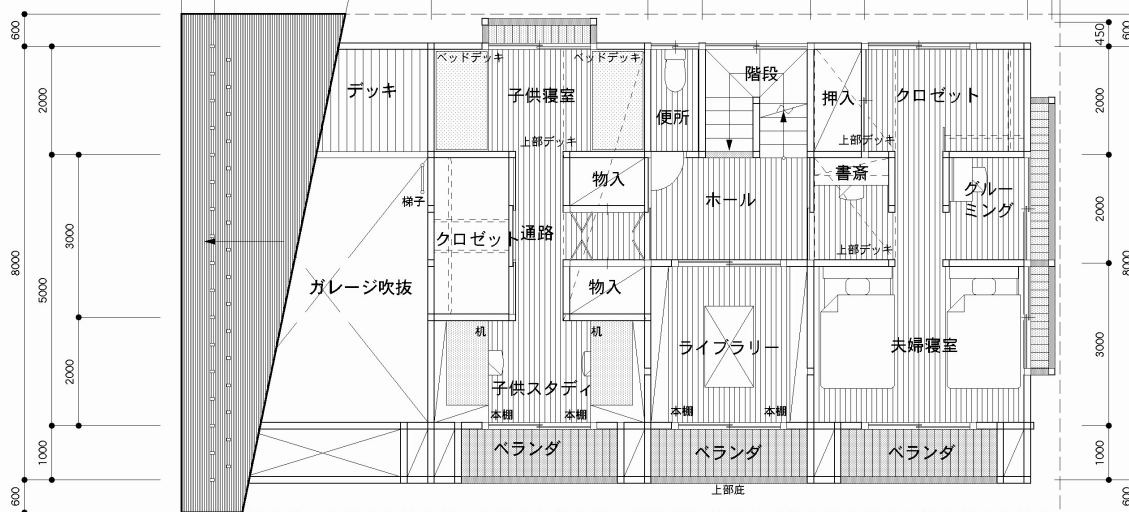
また、山梨では日常生活に欠かすことのできない車の置き場所を住宅内に入れ込み、ゆったりとした落ち着いた姿のある姿に一役かっている。

居住空間全体では、坐式のライブラリーや屋根裏を活用させた多目的に利用できるアトリエやデッキ、そして玄関ポーチや濡れ縁の板敷きに、そして家事のための庭に住まい方のゆとりをみることができる。

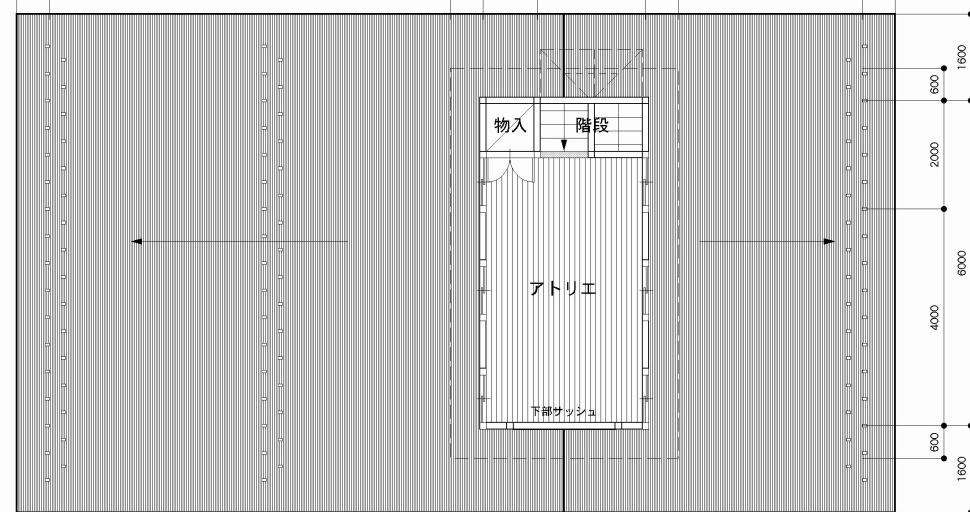


1階平面図
S=1/100

配置図
S=1/100



2階平面図S=1/100



屋根裏平面図S=1/100

・1階床面積120㎡・2階床面積88㎡・屋根裏床面積20㎡・延べ床面積228㎡